

3年	科目	歴史	講義	通年	担当	大野 仁子
物質工学科		history	必修	2履修単位		ONO hitoko
授業の概要						
近代世界の発展、帝国主義時代の世界情勢、二つの世界大戦とその後の世界の歴史的事象を学んでいく。また、歴史的背景を学ぶことにより、現代に生きる私たちが次世代の形成者であることを自覚し平和のためにどうすべきなのかを考えていく。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
近現代史から現在の事象について関連付けながら理解することで、現在の諸課題を歴史的観点から考察することができる。また歴史的思考力を培うことで、国際社会に主体的に生きる現代人としての自覚と資質を養うことができる。						
授業計画						
第1回		ガイダンス				
第2回		大航海時代				
第3回		ルネサンス・宗教改革				
第4回		ヨーロッパ諸国の争いと主権国家体制の形成				
第5回		重商主義と啓蒙専制主義				
第6回		ヨーロッパ諸国の海外進出				
第7回		17～18世紀のヨーロッパの文化				
	前期中間試験					
第9回		アメリカ独立革命				
第10回		フランス革命とナポレオン				
第11回		ウィーン体制の成立と崩壊				
第12回		ヨーロッパの再編				
第13回		アメリカ合衆国の発展				
第14回		19世紀の欧米文化				
	前期末試験					
第15回		アジア諸地域の動揺				
第16回		帝国主義時代				
第17回		世界分割とアジアの民族運動				
第18回		第一次世界大戦とロシア革命				
第19回		ヴェルサイユ体制				
第20回		世界恐慌とファシズムの台頭				
第21回		第二次世界大戦				
	後期中間試験					
第22回		戦後世界秩序の形成				
第23回		冷戦の激化と西欧日本の経済復興				
第24回		第三世界の台頭と米ソの歩み寄り				
第25回		米・ソの動揺と多極化する世界				
第26回		冷戦の終結				
第27回		グローバル化とアメリカ				
第28回		EUの拡充とヨーロッパ、アフリカの現状				
第29回		中東・アジアの地域紛争				
	学年末試験					
第30回		現代を生きる私たち				
評価方法と基準	定期テスト70% 授業態度(授業ノート・課題提出)など30%					
教科書等	詳説世界史B(山川出版) / 最新世界史図説タペストリー十一訂版(帝国書院)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					